

2025年2月12日(水)開催

「経営に活かすデータ分析講座 概要編 ～Excelでできる営業・生産データの分析～」

講師：藤本 理弘氏（長野大学非常勤講師 ARECアドバイザー）

大学卒業後、横浜のIT企業で11年間、情報システム開発やマーケティングなどに従事。その後大学院に入り、地域と情報の関係について研究、博士（地域政策学）を取得。2013年より長野大学非常勤講師。長野大学の学生が立ち上げたITベンチャーに顧問として参加し、2021年より同社取締役。2023年よりARECアドバイザー。



■日時 2025年2月12日（水）

14:00～15:30 講座のメイン（途中休憩あり） 15:30～16:30 相談会

■会場 AREC4階ミーティングルーム（上田市常田3-15-1信州大学繊維学部内）

■定員 20名（最小催行人数5名）

■対象者 社内で初めてデータ分析に取り組む会社の経営者または管理職、担当者など。

※今回は、Excelの操作方法はほとんど扱いません。

■受講料 無料 講座の続きは実践編4回予定 来年度開催予定となります。

■主催 一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）

東信州次世代産業振興協議会（事務局：上田市）

上田信用金庫

■申込 申込フォームよりお申込みください。※申込締切：2025年2月10日（月）

<https://forms.gle/ceuRBTnYdzZxcGnLA>

申込QRコード



概要

ふだん、営業や生産のために記録しているデータを、一工夫して分析すると、とても役立つ情報を得ることができる場合があります。

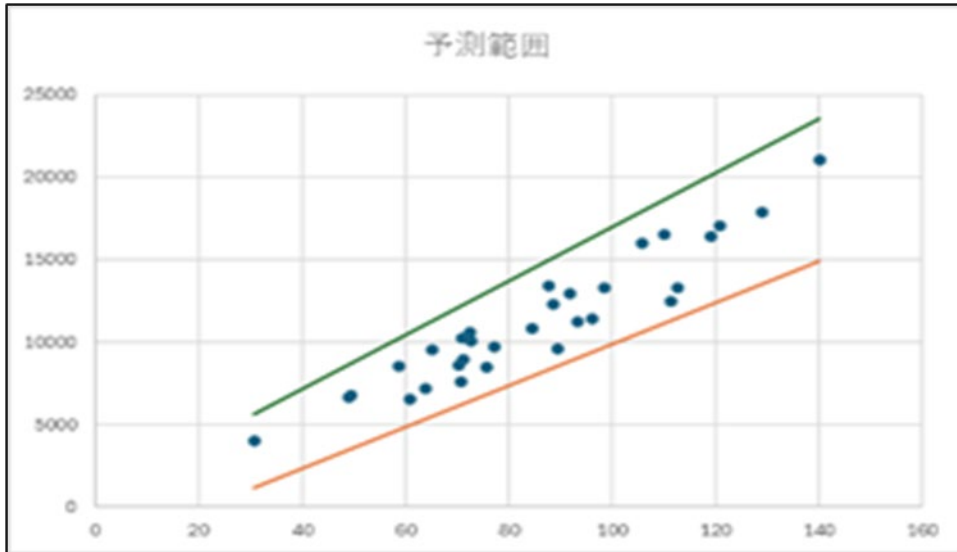
この講座では、社内によくある営業や生産に関するデータを、おなじみのExcelを使用して分析する例をご紹介します。

社内のデータを組み合わせて分析すると、たとえば見積の精度を向上させたり、顧客ごとの依存度や利益率などを把握したり、様々な施策の効果を検証したりすることができる場合があります。また、様々な外部環境の変化が、どのように営業や生産に影響を与えるかなどといったこともわかる場合があります。

さらに、公的なデータやアンケートデータを収集して組み合わせることによって、さらに高度な分析ができたり、データをグラフや地図に表現することで、経営判断のしやすいレポートを作成したりするための事例もご紹介します。

今までデータ分析に触れる機会がなかった経営者や管理職向けの講座です。なお、今回の講座は事例の紹介を中心とし、具体的な分析方法については来年度の講座にて扱います。

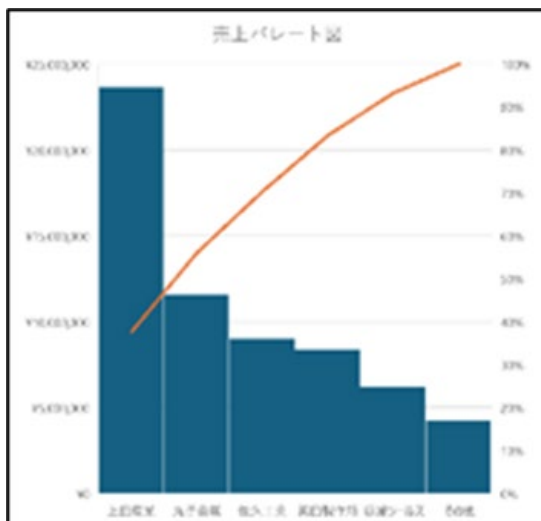
来年度開講するデータ分析講座実践編を受講いただけますと
下記のような図をExcelを使って作成することができます。



回帰分析。要因となるデータに基づき、費用（見積）
や業績を予想したりすることができる。



ポロノイ図。それぞれの点から、最も近い範囲を洗い出すこと
ができ、配送計画などに役立てることができる。
地理タイルにポロノイ図を追加



パレート図。顧客や商品ごとの売上の依存度の分析、
費用対効果の高い施策の洗い出しなどに使用する。